

まちづくりだより

平成21年3月16日発行
(2009)No.52

発行
知立連続立体交差事業
促進期成同盟会

編集
知立市 都市整備部
都市開発課 鉄道高架係

知立駅付近連続立体交差事業 用地取得状況

現在、名古屋本線における新鉄道用地、仮線用地の一部、環境側道、付替側道として買収する事業用地の取得率は、平成21年3月現在で全体数量約10,300㎡の内、約96%となりました。連続立体交差事業の事業用地は西一丁目、二丁目地区、西町草刈地区、宝二丁目地区、宝町塩搔地区、駅南地区、駅北地区、堀切地区、新富地区、及び弘栄地区となっています。各地区にて用地交渉を行っていますが、関係者皆様のご協力により用地の取得が着実に進んでいます。

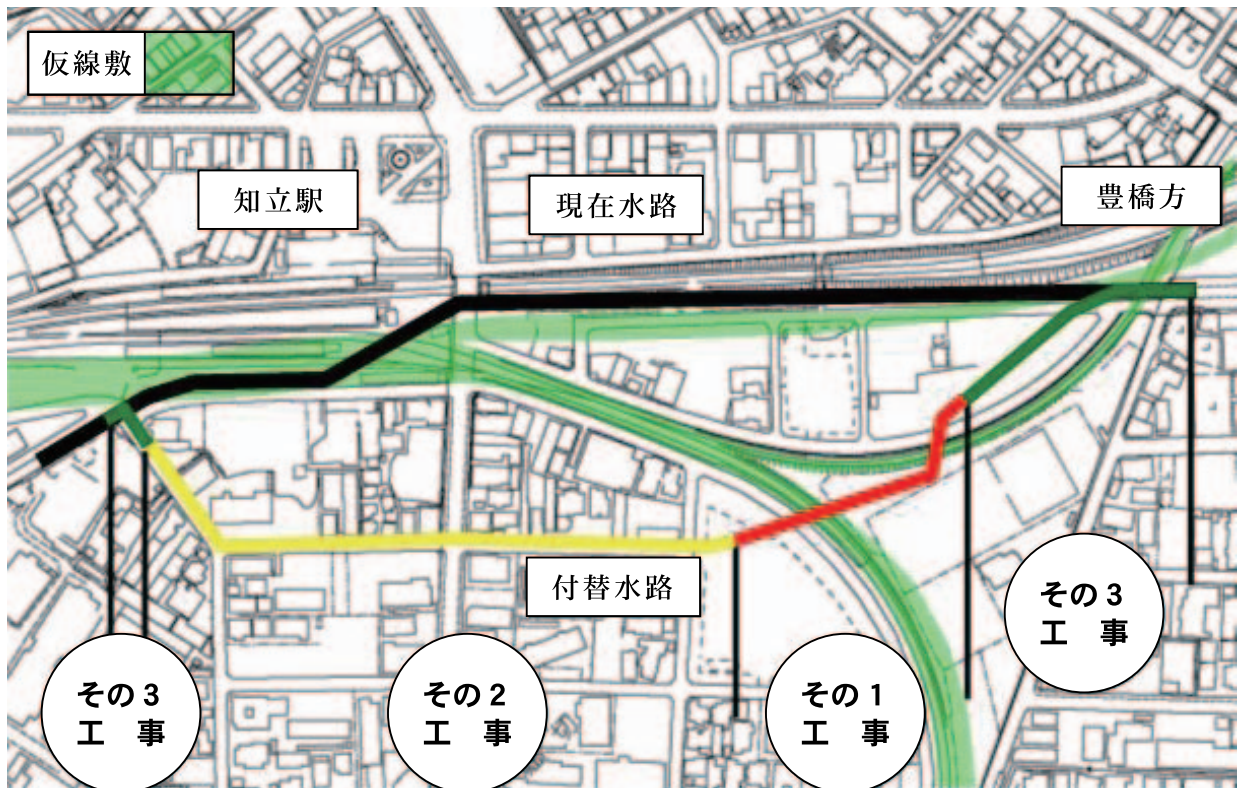


また、仮線用地、仮側道として使用する土地の一部について借地を開始しました。民地借地全体数量約1,800㎡の内、平成21年度3月現在では約30%を借地しています。



平成20年度は事業用地の取得や借地の開始、明治用水路の付替工事をはじめとする仮線工事の準備工事に着手し、また昨年度より引き続き行っている高架工事の詳細設計に取り組んできました。念願の仮線工事に向けて一步步着実に前進しています。引き続き関係者、関係各機関のみなさんにご協力をお願いしていきます。

仮線工事に向けての準備工事 明治用水路付替工事の紹介



明治用水西井筋幹線水路は、現在豊橋方から名古屋本線沿いに埋設され、知立駅構内を斜めに横断し、名鉄知立変電所に向かって三河線沿いに埋設されています。

知立駅付近連続立体交差事業の遂行にあたり、仮線設置の際に現在位置にある明治用水幹線水路が支障となることから、事前に支障のない位置への付替が必要となり工事を実施するものです。

明治用水路付替位置は、上記図に示した位置とし推進工法にて工事を実施します。
(推進工法とは、地下にトンネル状の穴を掘削していく工法です。)



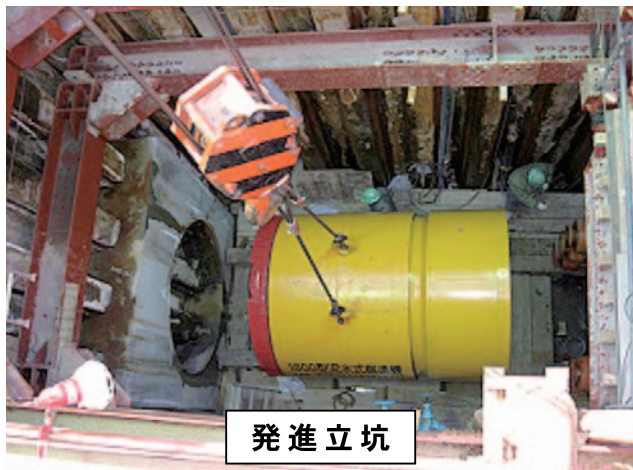
推進機



直径1800mm

工事概要、箇所について

付替水路の延長は525.18mとなり、用水FRPM管φ1500mm・φ1350mmを推進用ヒューム管φ1800mmの中へ布設し、地表下約6.9mのところに埋設します。



発進立坑



推進管

工事期間：その1工事 平成20年10月～平成21年春頃まで
その2工事 平成20年11月～平成21年夏頃まで
その3工事 平成21年9月～平成22年3月（予定）

工事発注者：明治用水土地改良区

推進工法のメリット

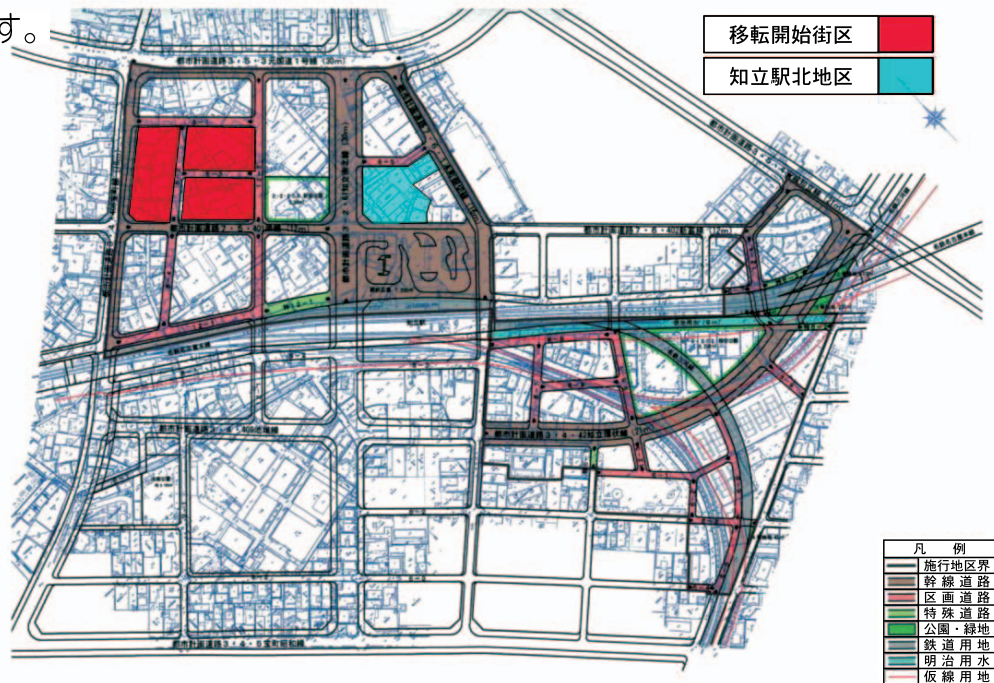
推進工法は、発進地点と到達地点の他は地面からの掘り起しがいないため、通行止めなどの交通規制の範囲が非常に小さく、鉄道や河川の横断、交通量の多い道路での施行及び密集した住宅街などに有利な工法です。

皆様へのお願い

明治用水路付替工事は来年度3月まで実施する予定です。近隣住民の皆様や、駅周辺の道路を利用する方々にご迷惑をおかけしますが、仮線工事の準備工事としてご理解とご協力をお願い申し上げます。

知立駅周辺土地区画整理事業進捗状況

知立駅周辺土地区画整理事業は、市街地を再構築し、魅力のある中心市街地の再生を目的とし、平成11年に事業認可されました。平成18年7月には、権利者の移転先を決める仮換地指定が行われ、現在は、宝町刈谷道沿いから駅方向にむかう形で建物の移転を進めています。



平成20年12月には移転者の仮住まい先となる宝町荘も完成し（右図）、また、区画整理事業区域内において地区計画（まちが無秩序にならないよう、地域ごとに建築できる建物用途などを制限）が施行されました。

共同ビル建設を目指して活動しています！

知立駅北地区では、共同ビルの建設を目指し関係権利者が集まり、勉強会を開催しており、近年中に法律に従って進める法定再開発準備組合の設立を目指しています。

少しずつではありますが、確実に、知立駅周辺土地区画整理事業は進んでいます。

今後50年先、100年先においても元気な知立市であるためにも必要不可欠な事業と考えますので、皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。



問い合わせ先

知立市 都市整備部 都市開発課 鉄道高架係
(知立連続立体交差事業促進期成同盟会事務局)

TEL 0566-85-5881

0566-85-5882

FAX 0566-82-5775

E-mail tosikaihatu@city.chiryu.lg.jp